



令和 7 年 3 月 26 日

南相馬市議会議長

会派名 無会派（公明党南相馬市議員用）
代表者氏名 志賀 稔宗

調査研究報告書

- 1 期間 令和 7 年 3 月 17 日（月）～令和 7 年 3 月 18 日（火）
- 2 参加者 ① 志賀 稔宗 ② _____
③ _____ ④ _____
⑤ _____ ⑥ _____
- 3 旅行先及び調査研究内容 別紙のとおり

調査研究内容

月日	令和 7 年 3 月 17 日 (月) ~ 令和 7 年 3 月 18 日 (火)
旅行先	能代ロケット実験場 視察 (秋田県能代市)
調査研究事項	JAXAの能代ロケット実験場の現状調査
〔内容〕	
能代ロケット実験場は秋田県能代市南部の日本海に面した南北に細長い敷地にある宇宙航空研究開発機構 JAXA の付属研究施設の一つである。内え浦宇宙空間観測所から打ち上げられる観測ロケット、科学衛星及び探査機打ち上げ用 M (江-) ロケットの研究開発に必要な各種固体ロケットモーターの地上燃焼試験を行うため 1962 年に開設され、すでに 63 年の歴史を刻んでいる。 1975 年からは液体酸素、液体水素ロケットエンジンの研究開発が開始され、その基礎実験を行うための施設設備が増設された。その後大型ロケット開発開始に伴い関連施設設備の拡充更新がすすめられた。 能代ロケット実験場は最大で 1km の保安距離 (人混みがない) が確保できることから宇宙推進エンジンの研究開発にとって重要な役割を果たしている。このときにはペンシルロケットを再現実験が行われたほか、現在はイグシロンロケットの技術要素試験や液体水素を燃料とするイグシロンロケットの技術要素試験や液体水素、液体酸素ロケットエンジン搭載した再使用ロケット実験機の離着陸試験など各種の野外実験に利用されている。 また宇宙科学研究所が推進している大学共同利用研究の場としても活用されており、2007 年からは京都大学と JAXA による液体水素の熱流動特性試験が開始され、今後ハイブリットロケット研究など多数の共同研究が計画されている。 本市はイノベーション構想の下、福島ロボットテストフィールドを核とした新産業の創出に取り組んでいるとされており、更に近年は宇宙関連産業の誘致集積に注力している。将来の宇宙港整備をめざし、ロケットエンジン燃焼試験設備やロケットの打ち上げ設備等の一連の関連施設の整備に向けて事業者の育成を図るため、国県や JAXA との更なる連携強化の重要性を確認できた。 宇宙関連産業の振興のうえで本市のポテンシャルは極めて高いと実感した。	